

このたびは三菱照明器具をお買上げいただき
ありがとうございました。

保管用

MITSUBISHI

三菱蛍光灯器具(高調波ガイドライン適合品)

Easyeco Super システム天井用

形名 YS4032 YS4033

取扱説明書

電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

- 施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
 △警告、△注意の表示で区分して説明しています。
 表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

- | | | | |
|--|---------------|--|---------------|
| | 絶対に行わないでください。 | | 必ず指示に従ってください。 |
|--|---------------|--|---------------|

△警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに
結びつく可能性があるもの

	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電落下的原因)		器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)
	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)		

△注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または
家屋・家財などの損害に結びつくもの

	お客様自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。 (火災・感電の原因)		節電その他の理由でランプを取りはずして間引き点灯しない。
	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)		ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。 (ランプが破損してけがの原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)		明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行なう。

△警告

誤った取扱いをしたときに、傷害または
家屋・家財などの損害に結びつくもの

	引火する危険のある雰囲気で使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シナーラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない。) (火災の原因)		配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により火災の原因)
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)		
	電源線は器具の外郭に直接触れない。 (過熱して火災の原因)		施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行なう。

△注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または
家屋・家財などの損害に結びつくもの

	高温(35°C以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。(落下・感電・火災の原因)		表示された電源電圧以外では使わない。 (火災・感電の原因)
	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。 (劣化による落下的原因)		
	風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。 (火災・感電の原因)		
	雨水のかかる場所で使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)		
	器具の外郭が天井内の造営材・ダクトに触れない。 (火災・感電の原因)		

△警告

誤った取扱いをしたときに、傷害または
家屋・家財などの損害に結びつくもの

	器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。		

お願い

- 器具の周辺温度が5~35°Cの範囲で使用してください。
 点灯始動保証温度は-5°C以上です。-5°Cのとき
 点灯直後は光束が約50%になります。
- インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。

お客様へ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
 △警告、△注意の表示で区分して説明しています。
 表示の意味は表中で説明しています。

- | | | | |
|--|---------------|--|---------------|
| | 絶対に行わないでください。 | | 必ず指示に従ってください。 |
|--|---------------|--|---------------|

△警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに
結びつく可能性があるもの

	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電落下的原因)		器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)
	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)		

△注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または
家屋・家財などの損害に結びつくもの

	お客様自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。 (火災・感電の原因)		節電その他の理由でランプを取りはずして間引き点灯しない。
	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)		ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。 (ランプが破損してけがの原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。 (過熱して火災の原因)		明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行なう。

ランプ交換・器具の清掃

△警告 電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)

	適合ランプ FHF32 FL40S(EX) FL40SS(EX)/37 FLR40S(EX) FLR40S(EX)/36		
	指定された適合ランプを使用してください。		
	カバーなどプラスチック部分には次のものを使用しないでください。 ・みがき粉やたわし ・殺虫剤 ・シンナーなど揮発性のもの ・熱湯		
	反射板の汚れは、やわらかい布でふきとってください。		
	ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、やわらかい布にぬるま湯または石けん水をつけてよく絞ってふきとってください。		

インバータ器具の取扱い

- 赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。
 (雜音が入ったり正常に作動しない場合があります。)

- 器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。

異常時の処置

- △警告 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。
 (火災・感電の原因)
 煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。



三菱電機株式会社

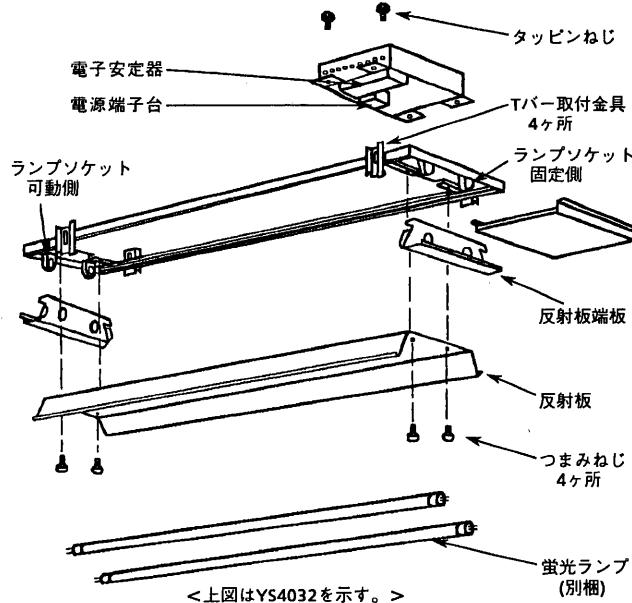
連絡先

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40

☎(0467)41-2728 (施設照明営業課)

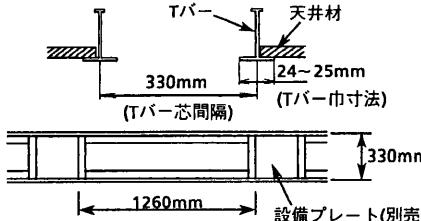
☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)

各部のなまえと取付けかた



1 取付前の確認

○この照明器具はラインタイプのシステム天井専用です。
適合Tバー巾寸法とTバー間隔を事前に確認する。

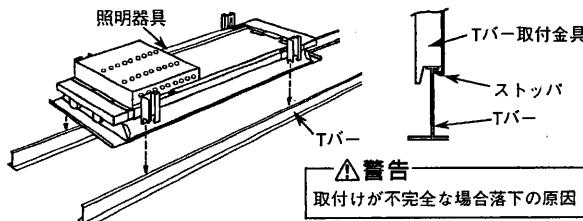


△警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。(落下の原因)

2 器具本体を取付ける。

(1)照明器具をTバーに確実に落とし込む。
(2)TバーにTバー取付金具のストップが確実にセットされたかを確認する。



3 電源線を電源端子台に接続する。

(1)電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

△警告

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

(2)アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

△警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。

(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

<D種(第3種)接地工事が必要です。>

○電源端子台の送り容量は20Aです。

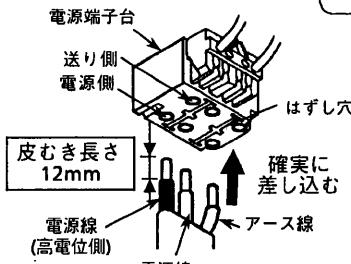
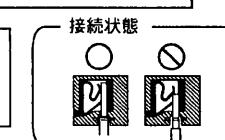
○適合電線:Ø1.6mm単線 Ø2.0mm単線

△警告

送り配線は照明器具専用とし、負荷容量を確認して接続する。
(負荷容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

△警告

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さ
に被覆をむき、1本ずつ迷結端子の奥まで
差し込む。
(差し込み不十分は接触不良により
火災・感電の原因)



○電源線接続の連結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

4 反射板を取付ける。

器具に同梱しているつまみねじを、
4ヶ所確実に締め上げる。

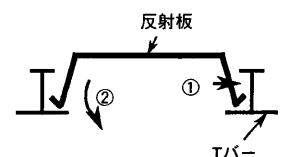
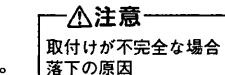
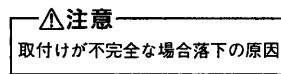
5 ランプを確実に取付ける。

可動側のソケット(受け板部が白色)より差し込む。

6 オプションの取付方法

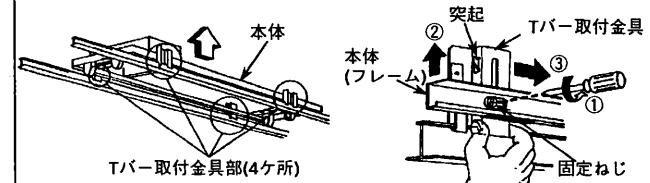
(1)反射板のつまみねじ4ヶ所をはずし、
横にスライドさせ、はすす。

(2)反射板端板をソケットからはずす



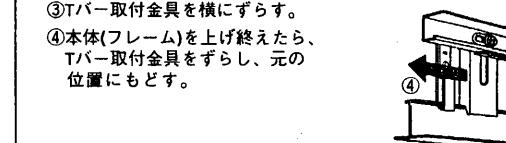
<本体の移動>

①Tバー取付金具部の固定ねじを4ヶ所すべてゆるめる。

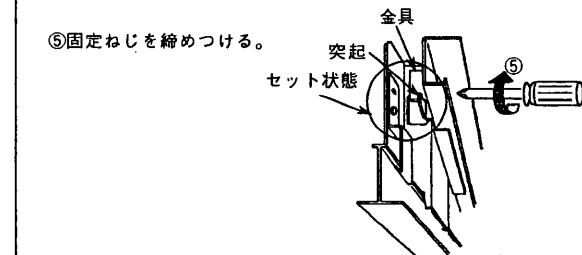


②Tバー取付金具の下端を片手で持ち、本体(フレーム)を上げながら、
③Tバー取付金具を横にずらす。

④本体(フレーム)を上げ終えたら、
Tバー取付金具をずらし、元の位置にもどす。

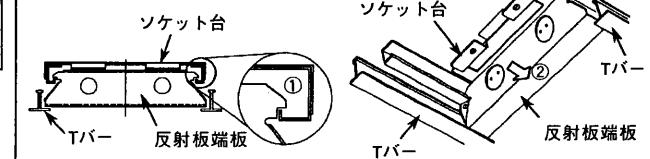


⑤固定ねじを締めつける。



<反射板の取付け>

①反射板端板の両端をフレームにかけ、
②ソケット台側に押し込む。



③反射板をつまみねじで取付ける。
(このときつまみねじは、ゆるめにしておいてください。)